

要チェック!



# アプローチされるための7つのポイント

～下諏訪町出会い・婚活プロジェクト委員からの婚活指南～



## ✓ しっかり自分をアピールできるプロフィールカードを作りましょう。

相手に見せたときに、「この人ともっと話をしたい!」と感じてもらえるような内容がベストです。もちろん事実と異なることを記入するのはNGですが、アピールできるところはしっかりアピールしましょう! 文字に自信のない方は丁寧に書くこと。丁寧な気持ちが、カードを通して相手に伝わります。

## ✓ 自分から話したいこと、相手から聞きたいことを整理しましょう。

当イベントは、まず向かい合った異性とプロフィールカードを交換し、5分程度のトークをします。女性は着席したままで、男性が次々に入れ替わる形式をとっています。

この5分という時間は、実際にやってみると意外に短く感じます。カード交換後、すべての記載事項について話を進めていくと時間切れになってしまいます。話したいこと、聞きたいことのポイントを事前に絞っておきましょう。多くの方が工夫して記入されている、カード右側のPRスペースからお話しをするのもいいかもしれません。

## ✓ キーワードは「笑顔・誠実・聞き上手」

「婚活」という場において、異性から沢山のアプローチが来る方はどんな方なのか? スタッフの所見では男女を問わず「笑顔&誠実&聞き上手」の方がアプローチを集めています。結婚が前提であれば当然の結果なのかもしれませんが、意外にそれが出来ていない方が見受けられます。お話しするときに腕組みをしてふんぞり返っていたり、自己PRに一生懸命になりすぎて自分の話しかしていなかったり。せっかくのチャンスを十分生かしましょう!



## ✓ 話しづらいことこそ堂々と! ～仕事・結婚歴など～

依然厳しい経済情勢を反映して、ご自身のお仕事について詳しく話したがない方もいるようですが、それはNG! 現在求職中だったり、意に沿わない仕事であっても、堂々とその旨を話す方が格段に印象はよくなります。仕事に限らず、結婚歴や子供の有無など答えにくい内容に話が及んだら、逆に胸を張って、その理由やこれからの思いをストレートに話しましょう。

## ✓ 休憩時間も見られている! ～こんな実例がありました～

イベントで実際にあった話です。休憩中、喫煙スペースでタバコを吸っていたある男性が、お酒の勢いもあったのか、大きな声で「夜のお店」の話をしていました。通りすがりの女性参加者が眉をしかめながらそれを聞いて、パウダールームの他の参加者に報告し、悪評が拡散。その男性のみならず、一緒にいた男性も評価を落としてしまいました。

イベント中は、思っている以上に異性から見られているものです。仲間内で話に花が咲くのはよいのですが、それは通りかかった他の参加者(特に異性)が聞いても不快にならない内容ですか? 休憩時間も気を緩め過ぎないで!



## ✓ 名札は見えるところに!

当プロジェクト主催のイベントは、個人情報に配慮し、マッチングなどはすべて名札番号で行っています。あなたともっとお話したいです、という指名も名札番号で行いますので、名札番号は、他の参加者やスタッフが見やすい場所に付けましょう。その場所、服や髪で隠れていませんか?

## ✓ フリータイムは積極的に!

そもそも、5分間のトークで人となりを知るのはなかなか難しいもの。是非、フリータイムでは積極的にいろんな方と話をしてください。あまり話すのが得意じゃないなあ、なんて方は、特にこの機会を利用して、「会話の経験値」をアップさせましょう。